

宮崎県日南市

## 飢肥杉の特徴を活かす高度な加工技術 積極的な機械化推進で作業効率改善

原木調達、製材、建材品への加工・販売までの一連の工程を自社内で対応可能な機械・設備を有する建材加工・販売業者。SGEC（森林認証制度）やJAS規格（製材工場）の認定を取得し、徹底した品質管理のもと、高品質な商品を提供している。飢肥杉を活用した自社ブランド製品等、幅広い商品ラインナップをそろえ、顧客のサイズや好みに応じたオーダーメイド加工にも対応している。

●所在地	宮崎県日南市大字伊比井173-1	●設立	1985年
●電話/FAX	0987-29-1234/0987-29-1434	●資本金	1,350万円
●URL	<a href="http://www.taka-moku.co.jp/">http://www.taka-moku.co.jp/</a>	●従業員数	122人
●代表者	代表取締役 高嶺 清二		



### 原材料の良さを活かした高度な加工技術を確立

準不燃木材に認定されている上質な飢肥杉を、独自の加工技術により、割れや歪みを抑えつつ、表面はヒノキのように硬く、中は杉の柔らかさを残した高強度・高耐久の建材を製造している。木の中心部分の「赤み」と呼ばれる希少な部分を使用した「飢肥レッド」というブランドで知られるウッドデッキ用建材等、高付加価値の自社ブランド商品も手掛ける。飢肥杉は、高い耐腐食性が求められる別荘用建材といった高付加価値商品のほか、JR九州の観光特急の内装や東京都オリンピック選手村の建材にも採用されている。



飢肥杉の特徴を活かした「飢肥レッド」

### 大胆な機械化と省力化による業務効率化

3~4年前から機械化・省力化を推進。2020年には最新の設備・機械を導入する新工場を稼働させ、さらなる生産性向上を進めている。同工場に導入する設備は、使用する木のサイズを統一して加工し、仕分け作業の手間を省く等、作業量の大幅な軽減が可能。これにより、従来の工場では70人は必要な作業工数を、わずか20人で対応する等、生産ラインに必要な従業員を大幅に削減する運営となっている。製品の品質を維持したまま、従来の数倍の作業効率を実現している。



最新設備を導入した新工場

### 従業員のモチベーション向上に寄与する施策を拡充

従業員のモチベーション向上のため、待遇面の改善を進めているほか、働きやすさ改善と社内の一体感向上、コミュニケーション円滑化のため、会社負担による資格取得支援を充実させている。また、従業員が家を建てる際に同社の建材を使用すれば、その利益分は全額本人に還元する等、福利厚生面の充実も図っている。同時に、3年前にベトナム人技能実習生を採用し、社内での多様な人材活用を試みている。



職場環境改善や能力開発支援を強化